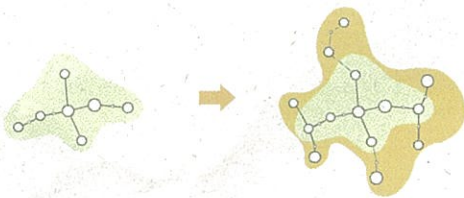


# 生きて生きる人のまち —長岡京官民協働計画—

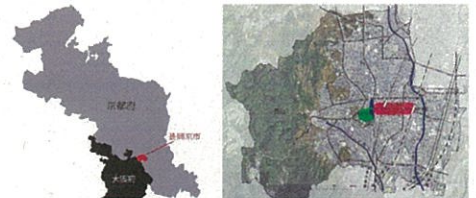
長岡天満宮、西国街道などの歴史資源を数多く有し、西山を中心とした緑が残る長岡京市。しかし、駅を中心とした密集市街地は、狭い道で車と歩行者がすれすれに往来し、公園を中心とする住民のための緑地が全国と比較して極めて少ない、最低限の生活のみがこの場所で行われ、まちへの愛着が低下し、まちなかでの日常体験が不足しているため、この地域に対するイメージは不鮮明となっている。これは多くの日本の地方都市が抱える問題である。住民が住みたくするまちとは、ごく普通の日常生活がまちに溢れ、人々が活き活きとしている空間ではないか、それは一人てゆくり過ごすことができ、ご近所との会話が自然と生まれ、家族がみんなでまちにかけたくなる空間。その実現には、日常を送る人が活きるためのまちを形づくる仕組みが必要である。私たちは、住民が求める日常を過ごす場としてのまちを形づくるために、行政と市民が協働する仕組みを提案する。

## 都市の拡大



日本の地方都市の多くの地域で、高度経済成長期に無秩序な開発が行われた。この開発はその目的が都市の形成を目指したのではなく、開発自体が目的であったために、都市の具体的な理想像をもたない不明瞭な都市が形成された。そのため、そこに生きる人々は自分のまちに対してイメージを持つことができず、誇りを持つなくなってしまっている。人口減少・高齢化の時代に入っていく中で、都市の形成の仕方を見直し、理想像をもった誇りとなりうるまちを形成していくことが、いま求められている。

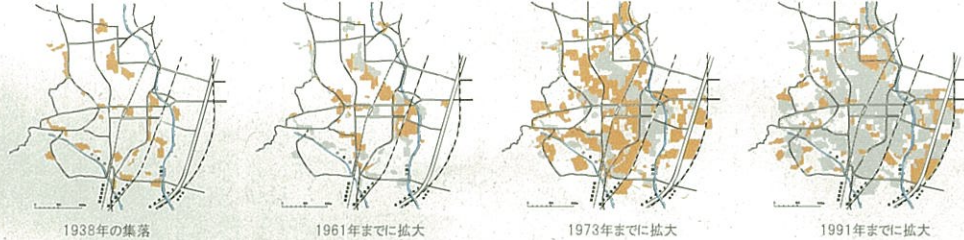
## 対象地概要



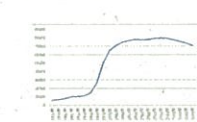
長岡京市は、1960年代から1970年代の高度経済成長期に大規模な宅地開発により人口が急激に増加した地域である。しかし、今後人口は減少することが予測されており、持続可能な都市として、都市基盤の整備と環境の保全・改善の両立が求められている。本提案では、この問題が顕著となっている天神通りを対象とする。天神通りは、JR長岡京駅から長岡天満宮までを結ぶ東西の交通基幹であり、シンボルロードとして拡幅が予定されている。

## まちの成り立ち

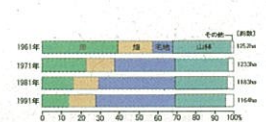
### 市街地の拡大図



### 長岡京市の人口の推移



### 地目別土地面積の割合

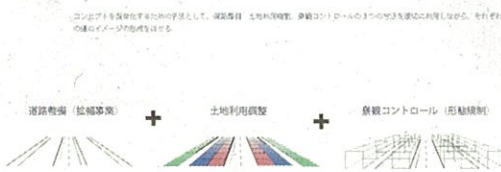


1960年以前では、長岡京市の市街地のほとんどがまだ形成されておらず、農村に近い状態だったと考えられる。西山から田畑へと連続的な緑が広がっていたと想像される。1960年から1980年までにかけて、急速な宅地化が進行し、人口が約倍に増加した。田畑の面積は大幅に減り、中心部は建物で埋め尽くされる状況となった。

## コンセプト：市民の日常をシンボルに



## 整備手法



## 問題意識



## 問題点

**現状の拡幅事業**  
道路の拡幅は単なる交通手段の確保が目的で、まちのイメージや生活環境への配慮が不足している。

**細切れとなった緑**  
緑地の断片化が進み、連続的な緑のネットワークが形成されていない。

**ゆとりのない都市空間**  
高密度な開発により、開放的でゆとりある空間が減少している。

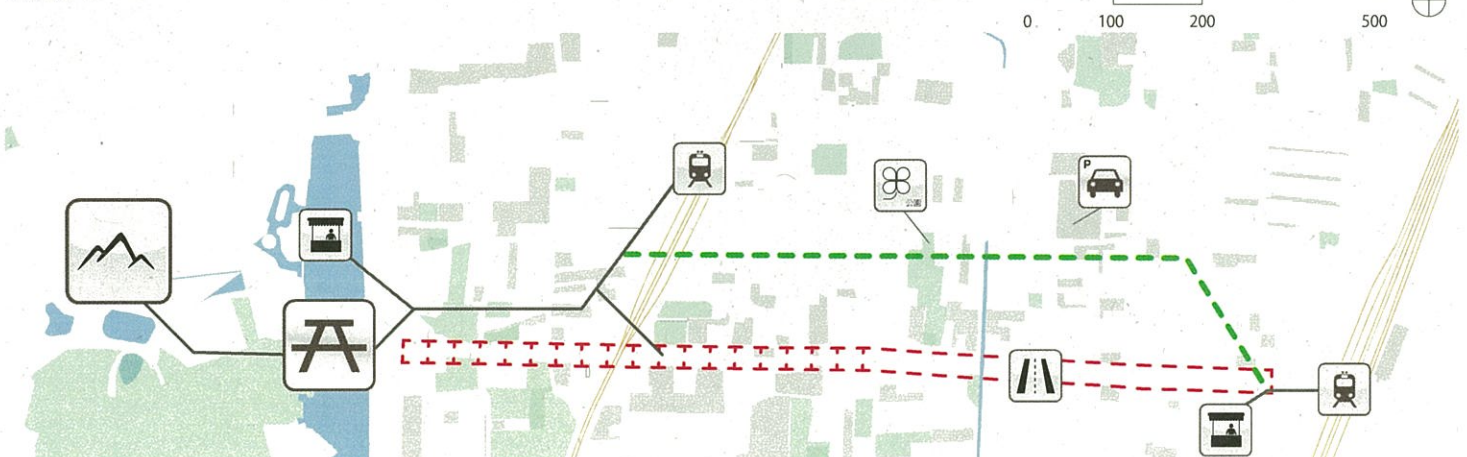
## ポテンシャル

**歴史的資源と風景**  
天満宮、西国街道などの歴史的資源を有効活用し、まちの個性を醸成する。

**市民活動**  
市民参加型のまちづくりを進め、市民の愛着と誇りを高める。



## 現地分析



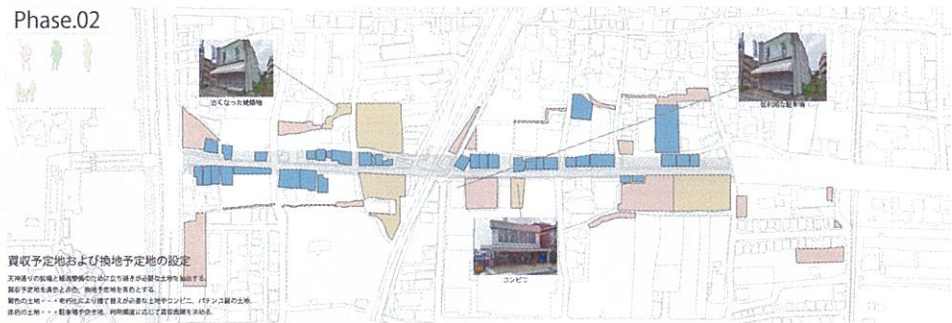
### Phase.01



#### 緑道ルートの設定

天候通り開放で、歩道幅の確保や歩道幅確保にて緑帯設計をすすめる  
この歩道を連続的に繋ぎ、歩道幅を確保する  
歩道幅確保による歩道の連続性、歩道幅確保による歩道の連続性、歩道幅確保による歩道の連続性

### Phase.02



#### 買収予定地および換地予定地の設定

天候通りの両側と緑道帯の両側に必要に応じて建物を撤去する  
買収予定地を指定する。換地予定地を指定する  
買収の仕切り・・・予約的に買収を進める必要に応じて歩道の連続性、歩道幅確保による歩道の連続性、歩道幅確保による歩道の連続性

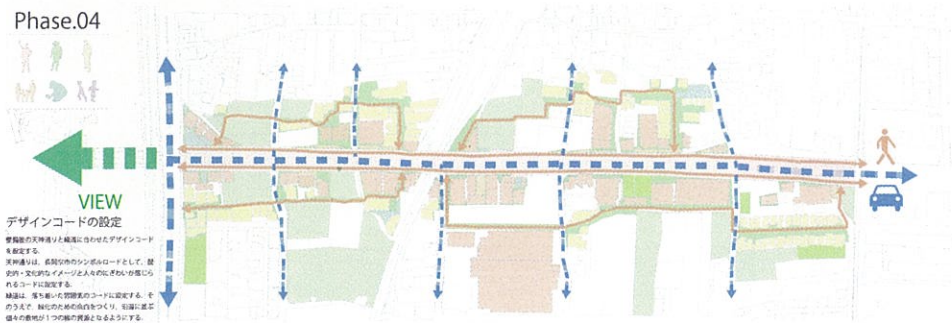
### Phase.03



#### 換地による再配置

建物や地形（樹木）を撤去して緑帯（歩道）に連続性を確保する  
買収予定地を指定する。換地予定地を指定する  
買収の仕切り・・・予約的に買収を進める必要に応じて歩道の連続性、歩道幅確保による歩道の連続性、歩道幅確保による歩道の連続性

### Phase.04



#### デザインコードの設定

歩道の両側と緑道帯の両側に必要に応じて建物を撤去する  
買収予定地を指定する。換地予定地を指定する  
買収の仕切り・・・予約的に買収を進める必要に応じて歩道の連続性、歩道幅確保による歩道の連続性、歩道幅確保による歩道の連続性

**行政 Government**  
・都市計画の推進  
・施設への提供  
・施設周辺の整備  
・補助金の提供

**商店主 Business**  
・デザインコードの活用  
・歩道の整備  
・通商環境の整備  
・高品質な街づくり

**小学校 School**  
・校舎内の教育  
・校舎外との交流  
・校舎外での活動  
・通商環境の整備

**農家 Farmer**  
・地域の発展  
・農産物の販売  
・地域の活性化  
・地域のイメージの向上

**居住者 Neighborhood**  
・デザインコードの活用  
・歩道の整備  
・通商環境の整備  
・高品質な街づくり

**緑のサポーター Green Group**  
・緑道帯の整備  
・地域の活性化  
・地域のイメージの向上

## PARTNERSHIP for GREEN PROMENADE

**HISTORY CULTURE ACTIVITY**

① 商店  
② 商店  
③ 商店

④ 商店  
⑤ 商店

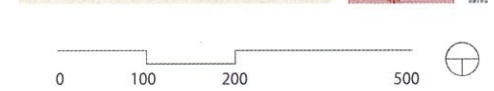
⑥ 商店

**NATURE LIFE CALM**

① 樹木  
② 樹木  
③ 樹木

④ 門  
⑤ 門  
⑥ 門

⑦ 門  
⑧ 門



### 現地分析

